

会 議 録

会 議 の 名 称	令和7年度第4回学校運営協議会
開 催 日 時	令和8年1月28日
開 催 場 所	上尾市立平方小学校 第1会議室
議長（会長）氏名	深谷 桂治
出席者（委員）氏名	<p>会 長 深谷 桂治</p> <p>委 員 木ノ内 岳人 千島 務 村尾 春菜</p> <p> 渡辺 堅一郎 芳川 りえ 山口 雄大</p> <p>校 長 大野 和孝</p>
欠席者（委員）氏名	長いづみ 、 森山 諒 、 鈴木 健司 、 宮内 礼子 渡辺 堅一郎
傍聴者（人数）	0名
議 題	<p><u>1. 開会の言葉（教頭）</u></p> <p><u>2. 校長あいさつ（校長）</u></p> <p><u>3. 協議（進行：深谷）</u></p> <p>（1）学校評価について（教頭）</p> <p>教頭：教職員の学校経営・学校教育目標の評価はすべてAであった。 学習指導・学力向上についてはB。本校の課題である。 生徒指導・心の教育について、評価はAだが、実態は様々。 心の教育について、ご意見をいただきたい。</p> <p>○ほめる教育の推進について</p> <p>千島：ほめることは子供も大人も大事。向上意欲を湧かせる。</p> <p>校長：教員がほめるも大事だが、児童同士で認め合う活動も大切。体育の授業を中心に意図的に取り組んでいる。</p> <p>千島：認め合うことが大切。</p> <p>村尾：子供たちも家で嬉しかったと話をしている。</p> <p>木ノ内：褒めると叱る。毅然とした対応が取れなくなることはないか。</p> <p>教頭：毅然とした態度で指導できるよう、教職員間で共通理解を図っている。</p> <p>木ノ内：ほめるを目的としないで、よいところを見つける。高校の現場では、ペップトーク「～してはいけない」ではなく、「こうした方がよい」と言い方を変える指導を心がけている。研修もある。</p> <p>村尾：先生たちは怖いこともある（＝厳しい。いい意味で捉えている）</p>

○学力向上について

校長：学校運営協議会の話もあり、長期休業中の課題など、紙のドリルとの併用も取り入れている。

村尾：漢字については、デジタルだけでは効果が薄いという話もある。

木ノ内：高校は必ずPCを取り入れる（個人か学校で購入）。学校によって活用に差がある。板書は漢字が読めなくても書ける。

PCだと読めないと書けない＝教員の話聞くようになる。

意識付けをさせ、指導に役立てている。

○思いやりの心について

教頭：ありがとう、ごめんなさい、やさしい言葉づかいについて、アンケート項目と実態が合っていないように感じる。

木ノ内：ペップトークを小学校の道徳に取り入れている事例について。子ども同士の関わり合いでも活用できるのでは。

村尾：海外では、自分の考えをいかに伝えるかを重視する印象。日本らしい考え方。

木ノ内：伝え方が悪いと、相手にも伝わらない。（－ではなく、＋の伝え方）いじめ防止にもつながる。

教頭：体力の向上の評価もA。ひらまるンピック、ひらチャレなど継続した活動を行っている。環境整備は、昨年度より大きく伸びた。

○体力の向上について

村尾：運動会は子供たちが楽しみながら取り組んでいた。

深谷：給食試食会はどうだったか。

教頭：地域の方の反応はよかった。

千島：毎回参加しており、名前を覚えてもらった。

木ノ内：市の給食委員会に参加。メニューの決定について、値段、栄養、味など様々な議論がなされていたことが勉強になった。何らかの形で子供たちに伝えられたら。

教頭：ランチルーム給食の取り組みも始まっている。

深谷：温かい食事の提供も嬉しいこと。

校長：学校ファームについて、千島さんの協力もあり、旧幼稚園の一角に新たに作ることができた。

千島：感謝の手紙を頂いた。来年度も行いたい。2年生への収穫体験も計画中。

教頭：保護者、地域の連携は協力もあり、充実している。
教育活動はよりよいものにしていこうと、教職員で協議している。

○コミュニティ・スクールについて

千島：「コミュニティ・スクール」について、地域の子を地域で育てる。子と地域とのつながりがないとできない。環境整備、下校ボランティア、草木の剪定…平方はコミュニティ・スクールとして活発に活動している。その活動を地域や子供たちに知ってもらうことが大切。それが取り組んでいる人の励みになるし、子供たちへも伝わっていくものになる。

木ノ内：学校から保護者に発信する機会が少ない。貴重な場合は個人面談。短い時間で終わってしまった。個人の成長だけでなく、学校の活動や地域とのつながりを伝える場にしてもよいのでは。（話す内容も学校で共通認識するもの）

村尾：おやじの会のボール寄贈も、2年生にはうまく伝わっていなかった。

深谷：これらの意見をもとに、学校評価の作成を。

（2）PTA 活動について（村尾）

村尾：来年度、大きく変わる。PTA の加入を希望制にした。

（役員候補の一般会員と、役員にならない寄付会員）

半分は残る。登校班、旗当番をその中で運営。

新入生は登校班には入りたい様子。

PTA リサイクルも来年度は参加できない旨を平方支所に伝えている。

来年度実施してみて、運営の仕方を検討していく。

深谷：大きな変化。会員制などは前例があるのか。

村尾：他校の実践例をもとに提案した。

千島：リサイクルについて。畑の一角にアルミ缶を集めていたがでなくなってしまう。多く集まっていたのでもったいない。

（3）春のおめかし作戦（除草作業等）について（千島）

千島：卒業、入学式前に整美したい。幼稚園門付近と、中庭を整える予定。仲間意識、防犯意識等、地域のつながりを深めるためにも行っていきたい。自治会連合会の協力もあり、地域の理解も得られている。

全員：満場一致で承認

4. 諸連絡（教頭）

（1）卒業証書授与式について

- ・日時を確認の上、返答をお願いします。

(2) 令和8年度学校運営協議会委員について

- ・是非、来年度もお願いします。

(3) 英語活動に係る評価について

- ・この後、授業参観をお願いします。
- ・学校評価についても、学校評価書に記入して提出をお願いします。

5. 閉会の言葉（教頭）